



# SSKUあまねだより

発行 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
ヴェルドゥーラ・祖師谷102

編集 社会福祉法人あまね

〒239-0805 神奈川県横須賀市舟倉1-12-1  
TEL 046-833-4035 FAX 046-887-0678  
2025年5月4日 第491号(頒価20円)

## 新緑の季節を迎えて

～もう一つのやまゆり園から感じること～

新緑が美しい季節になってきました。会議等で横須賀・横浜道路を車で走っていると、新たに芽吹いた葉が美しい新緑になり、どこかしこに藤の花が連なって咲いている姿をみると、桜が過ぎ初夏の季節に移ってきたことを実感します。心地の良い季節になってきました。これから梅雨までの一時過ごしやすい気候になってきます。

朝日新聞に「もうひとつのやまゆり園」として中井やまゆり園の一連の出来事が連載されているのを見た方もいらっしゃると思います。2016年津久井やまゆり園の元職員植松聖死刑囚によって19人の利用者が殺害された事件を受け、津久井やまゆり園での支援の在り方を調査する中で、中井やまゆり園も虐待を含め不適切な支援が横行していたことが発覚しました。神奈川県からの要請を受け、中井やまゆり園の虐待事案を調査した外部調査委員会は2022年の報告書の中で「支援職員も利用者を人間として見れなくなっている」と異例の厳しさと断じていました。

新聞の連載記事を読んだ内容と、2/28に地区連絡会で中井やまゆり園外部アドバイザーの大川貴志氏を講師に迎え「共に生きる共生社会を目指して」として、研修会の中で中井やまゆり園での取り組みの話をつた内容と深くリンクし、改めて障害者の方を支援することの意味を深く考えるきっかけとなりました。

新聞の記事にも、研修時の大川氏の話のなかにも、支援がマニュアル頼みだったということ。その背景には、職員が2年から3年で変わり（県の人事異動）利用者の育ってきた背景にまで想いが行き渡らないこと。職員側にとって困った行動がおきるとその対処方法として代々受け継がれてきたマニュアルに沿って対応が行われ、結果として強度行動障害＝刺激を避けるとなり、居室施錠や安全監視カメラが横行するという負のスパイラルに陥ってしまっていることがわかりました。

また、医療面に関しても新聞の連載でも研修会の中でも触れられていましたが、低栄養の方や、長期間の利用によって車いす利用になる方が多いこと。白内障で失明する方も多いという内容には驚きしかありませんでした。何故このようなことがおきなのか…、食事も通院で食べられなければ2時間で廃棄してしまい、食事がそもそもとれない事態に陥ること。通院の判断や入院の許可を県庁に取らなければならないこと等が大きな要因であることが記載されており、家庭や普通の施設では考えられないことです。

県立施設のあり方を検討する委員会は過去数度開催され、第1回やまゆり計画（1980年から1986年）では基本的な考え方として◎地域を基盤とした新たな福祉システム作り◎地域に開かれた施設◎暮らしやすい「生活の場」特に三浦半島地区では、三浦しらとり園が知的障害児者の福祉の拠点施設として整備するようになっていました。しかし、年々考え方は大きく変化し、今般の当事者目線の福祉推進条例においては、利用者の意思決定に基づき施設から地域へとの流れがつくられました。しかし、以前の計画を見ると、県立施設の役割は民間では受け入れられない重度の方の受入れ支援と、無期限ではなく有期限での受け入れと有期限であるが故に目的を持った支援を実施していくようになっていました。大きな流れとして県が言われている施設から地域へとの考え方は間違っていないと思いますが、地域では重度の方を支えられるような社会資源が整っていないことも事実です。また、混乱した状態を整理する役割として入所施設の役割はまだまだあると私は思います。

しかし、ご家族も県立施設に入所できた＝生涯面倒を見てもらえると安心され、施設側も人が変わる中で、当初の考え方を継承することはできない状態になってきたことが、このような閉鎖性を生んだ大きな原因であるように思えてなりません。新聞の連載を見る中で、また大川氏の話も聴く中で、私たちの仕事は、「支援の主人公は仲間」であるという原点を決して忘れてはならないことを改めて感じる事ができました。その上で今ある社会資源をどう使いやすいものにしていくのが、私たちに課せられた役割であると感じます。【記・海原】



ともしびショップマリン参加します

開催日時 2025年5月17日（土）・18日（日）

9:00～16:00

ヴェルニー公園

場所

A 横須賀市関連エリア

6

ともしびショップマリン  
焼菓子・ピンクシャツ運動商品



## ヘルパー募集

あなたの『笑顔の力』を試してみませんか

知的に障害のある方々が生活を楽しむためにサポートをするお仕事です。  
移動や外出の同行、身体介護（入浴・更衣・トイレ介助）や生活援助（調理・洗濯・掃除）を行います。

【給与】時給 1260円\*8時迄と18時以降+315円 身体介護+200円

【時間】8:00~19:00 \*都合の良い時間に1時間~OK

【資格】介護職員初任者研修（ヘルパー2級）

【待遇】交通費規程支給・処遇改善手当あり



### 賛助会にご協力をお願いします。



社会福祉法人あまねでは、利用者の方のニーズに対応し、事業の継続とより良い支援体制にしていくために、多くの方々に法人を理解いただき、賛助会員としてサポートをお願いしています。賛助会費は税額控除に対象になります。少しですが製品もプレゼント

### ふきんとお茶販売のお知らせ

きょうされんふきん  
750円(3枚一組)



静岡県牧の原産やぶ北茶  
1,000円(200g)です

ご注文はあまね共同作業所まで  
☎046(835) 0723

### 資源回収ご協力 ありがとうございます

3月実施分は8,722,5kg  
奨励金は34,800円でした

次回日程は確認してください

### 5月の予定

5月 9日（金）資源回収（池田・岩戸）

5月 10日（土）資源回収（舟倉・久比里・若宮台）

資源回収をしていると、山々の新緑が美しく映え、各ご家庭の庭にはお花が咲き、とても気持ちよく感じる季節になってきました。